

「ヒューマンエラーの科学」 ～ なぜ起こるのか、どう防ぐのか、医療・交通・産業事故 ～
元東京大学教授 大山 正、麗澤大学名誉教授 丸山 康則、麗澤大学出版会、226 頁
ISBN4-89205-476-3 (定価 2,400 円 + 税) 2004 年 4 月 10 日 発行

〔目次〕



- 1 序論 ヒューマンエラーとその防止
- 2 ヒューマンエラーのメカニズム
- 3 医療事故とヒューマンエラー
- 4 交通事故とヒューマンエラー
- 5 組織による反社会的意思決定の社会心理学的分析と改善指針
- 6 “組織風土”とヒューマンエラー
- 7 注意の自己管理不全とヒューマンエラー
- 8 失敗から成功へ
- 9 ヒューマンエラーの科学がめざすもの [丸山 康則]

本書は、2001年に発行された『ヒューマンエラーの心理学』の続編である。前編に引き続き、ヒューマンエラーの問題について科学的研究に取り組んでいる8人の専門家がヒューマンエラーを繰り返さないためには、どうすればよいのかについて、認知心理学、社会心理学、安全工学などのさまざまな視点から、エラー発生のメカニズムやその防止対策について解説している。

2章の「ヒューマンエラーのメカニズム」および7章の「注意の自己管理不全とヒューマンエラー」は、エラーに関する基礎知識として認知心理学によるエラーの取り扱い方について述べている。3章「医療事故とヒューマンエラー」、4章「交通事故とヒューマンエラー」は、両分野におけるエラーの特徴や事故の背後要因を紹介している。6章「“組織風土”とヒューマンエラー」および7章「注意の自己管理不全とヒューマンエラー」は、JCO 臨界事故や食品会社による食品表示偽装事件など、ルール違反によって引き起こされた組織事故について詳述されており、本書の中心となる内容である。

本書にはエラー事例や興味深い研究成果をコンパクトにまとめたコラム（“ヒューマンエラーの個人差”、“危険予知とヒューマンエラー”、“安全文化という言葉”等）が収録されており、科学的な視点からヒューマンエラーを考えるヒントを与えてくれる。